Kodak

PIXPRO WP1

Sport Camera

取扱説明書

警告

適合宣言

責任団体： JK Imaging Ltd.

住所： JK Imaging Ltd., 17239 South Main Street, Gardena, CA 90248, USA
JK Imaging Europe, 71 Clarendon road, Watford, WD17 1DS, UK

カメラに関する情報の提供： www.kodakpixpro.com

著作権について：

- 本製品で撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権の侵害よって生じたトラブルや損害などについては、一切その責任を負いません。

免責について：

- 本製品の取扱説明書に従った取り扱いをしなかったことに起因して生じた損害については一切その責任を負いません。
- 万一、本製品及びカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本製品の使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害については一切責任を負いません。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本マニュアルについて

本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、本製品の使用法に関する取扱説明が記載されています。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。

知っていると役に立つ情報を示します。

- カメラの操作を紹介するとき、理解しやすくしていただくために、次の記号が文章に表示されています。

「アイテム内容」：液晶モニターに表示されるアイテム内容は「 」記号で表示されています。

安全上の注意

防水、防塵、耐落下衝撃について¥

- JIS/IEC保護等級8級（IPX8）相当の防水機能及び。
- JIS/IEC保護等級6級（IP6X）相当の防塵機能を備えています。
- 耐落下衝撃高さ：1.2mまで。

防水に関するご注意

- 水深5mを超える水中では使用しないでください。カメラは水深5mの1時間防水機能をサポートします。
- 水温40℃を超える温泉では使用しないでください。
- 水中では電池カバーと側面カバーの開閉は行わないでください。
- カメラが水に濡れた状態では電池カバーと側面カバーを開けないでください。濡れている時は、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で、水分を十分に拭き取ってください。その後、電池とメモリーカードを取り外して、24時間カメラを乾燥させてください。
- 電池カバーと側面カバーを開けた時にカバー内部に水滴が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- 水中（海水も含む）あるいは砂や泥などの異物が付着するような場所で使用したあとは、早めに真水（水道水）で十分洗ってください。洗う時には電池カバーと側面カバーを開けないてください。水洗い後は、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で十分に拭き取り、ボタンなど操作部分がスムーズに動くことを確認してください。
- 電池カバーと側面カバーの防水ゴムやその接触面にごみや砂など異物が付着したときは、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で取り除いてください。
- 防水性能を確保ために、防水ゴムやその接触面に砂や異物が付いたままにしないでください。

防水ゴムの傷やひび割れは水漏れの原因となります。ただちに購入店又は弊社サービスステーションへ修理にだしてください。有償で新しい防水ゴムと交換します。

カメラに関するご注意

- カメラを分解したり、修理や改造をしないでください。感電したり、けがをするおそれがあります。
- カメラを投げつけたり、落としたり、叩いたりしないでください。故障の原因となりす。
- カメラのレンズに直接手を触れないでください。専用のレンズ拭取り紙と洗浄剤でレンズを軽く拭いてください。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。
- 高温（40℃以上）になるところで、カメラのご使用、保管はしないでください。
- カメラのレンズに長時間、直射日光を当てないでください。
- 強い電磁波を発生させる装置の区域で、カメラのご使用、保管はしないでください。
- 寒い戸外（低温環境）から暖かい室内（高温環境）に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- カメラまたはメディアの機能不良により記録した写真を再生できない場合、記録した写真の損失や撮影に要した諸費用及び利益損失等に関する損害などの賠償は致しませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを長時間使用しないときは、電池を取り外し、ほこりや湿気の少ない清潔な乾燥した場所に保管してください。

電池に関するご注意

- 電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけてください。
- 電池の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。一部の電池のリサイクルができますので、リサイクルセンターに送ってください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたり、鋭利のもので電池を傷つけたりしない。破裂、液漏れの原因となります。
- 電池と金属製のネックレスやヘアピン、コインを一緒に持ち運んだり、保管しないでください。ショート、発熱、火傷やけがの原因となります。
- 電池をショート、分解しないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 高温（40℃以上）や直射日光が当たる場所で、電池の保管はしないでください。
- 電池は幼児の手の届くところに放置、保管しないでください。舐めたり、口に入れたりすると非常に危険です。
- 低温下で使用した場合は、電池性能が大幅に低下します。
- プラスとマイナスの標示にしたがって、電池を正しく装填してください。電池を無理に電池室に押し込まないでください。

メモリーカードに関するご注意

- 本マニュアルに記載されているメモリーカードは、microSDカードあるいは、microSDHCカードです。
- 信頼できるメーカーのメモリーカードをご購入ください。
- メモリーカードは、清潔な乾燥した涼しい場所に保管してください。
- メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカードスロットに合わせて「カチッ」と音がするまで差し込んでください。無理に挿入しないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。
- メモリーカードを新しく購入、他のカメラで使用、パソコンで初期化等した場合は、ご使用の前に、お使いのカメラで、メモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- カメラを使用して撮影した静止画、動画は、メモリーカードに自動的に作成されたフォルダーに保存されます。他の機器を使用して撮影した静止画、動画をこのフォルダーに保存しないでください。再生モードで、ファイルを認識できない原因となります。
- メモリーカードに保存されている画像を直接編集しないでください。編集するときは、画像をパソコンへコピーしてから行ってください。
- パソコンでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または削除しないでください。カメラでメモリーカードが使用できなくなる原因となります。
- メモリーカードの取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。もしオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。
- 長期間使用しないときは、メモリーカド内の画像は、パソコンなどに保存してから、カードを取り外して保管してください。

その他に関するご注意

- ファームウェアの更新中は電源をオフにしないでください。変更中にカメラの電源が切れると、カメラの電源が入らなくなり、撮影できなくなります。カメラの電源はフル電量の専用バッテリーをご使用下さい。
- 使用が制限されている場所（飛行機、医療機関など）では、そこの規定を厳守してください。
- 液晶モニターは高精度の技術で製造されていますが、きわめて小さな点 (黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。この現象は液晶モニターの特性であり故障ではありません。また、記録された写真に影響を与えることはありません。
- 液晶モニターが損傷した場合、液晶モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

  1. 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。

  2. 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。

  3. 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

目次

警告 1

安全上の注意 3

目次 8

準備をする 12

付属品一覧 12
各部名称 13
電池の挿入 15
メモリーカードの挿入 16
電源をオン/オフに切り換える 17
言語と日時の設定 17

モードを使用する 20

液晶モニター画面表示 20
静止画撮影モード表示 20
動画撮影モード表示 22

再生モード表示 23
モードボタンの使用 24
自動モード 25
手動モード 25
ポートレートモード 26
パノラマモード 26
シーンモード 28

基本操作 33

画面の切り替え表示 33
セルフタイマーモード 34
フラッシュモード 35
機能設定 36
動画撮影ショートカット 38

再生モード 39

静止画と動画を見る 39
サムネイルビュー 40

画像を拡大する（静止画専用） 41
スライドショー 41
画像を消去する方法 42

操作メニュー 43

静止画メニュー 43
設定メニュー 48
動画メニュー 51
動画設定メニュー 53
再生メニュー 54
再生設定メニュー 57
カメラ設定メニュー 61
音設定 62
省電力 62
言語設定 62
ワールドタイム 63
日時設定 63
ファイル・ソフトウェア 63

フォーマット 63
カードへコピーする 64
ファイル番号 64
リセット設定 65
FWバージョン 65

カメラ接続 66

PCに接続する 66
ビデオシステム 67
電池種類 68
PictBridge互換プリンターに接続する 69
PictBridgeメニューを使用する 71

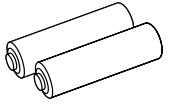
付録 75

仕様 75
エラーメッセージ 79
困ったときには 82

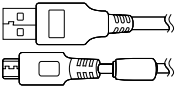
準備をする

付属品一覧

パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。



単三形アルカリ電池



マイクロUSB
ケーブル

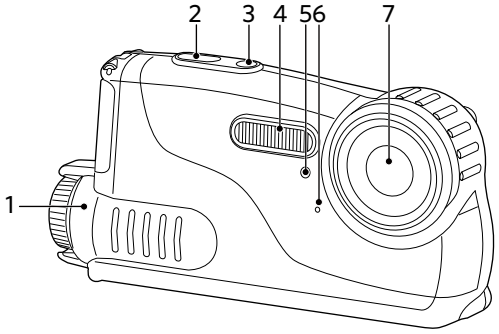
リストストラップ

かんたん操作
ガイド

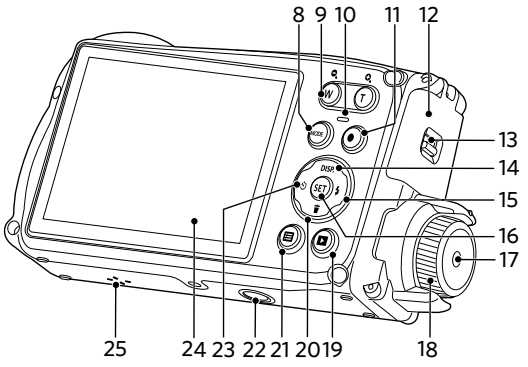
保証書

サービスカード

各部名称

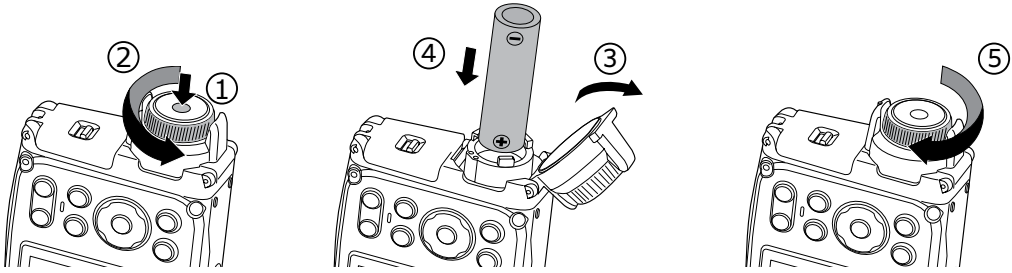


1. 電池カバー
2. シャッターボタン
3. 電源ボタン
4. フラッシュ
5. タイマーインジケーター
6. マイク
7. レンズ



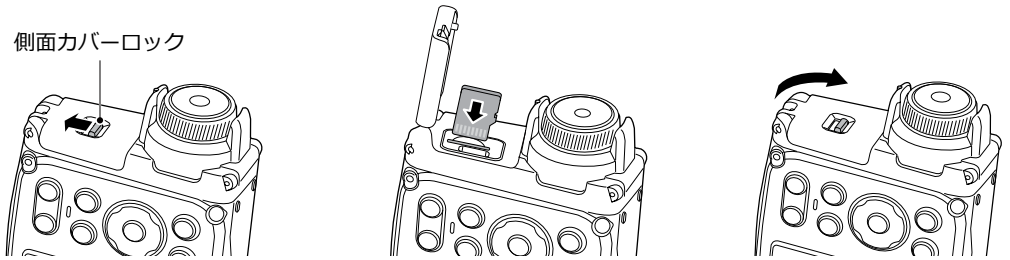
8. MODE ボタン
9. ズームボタン
10. 電源ランプ
11. 動画ボタン
12. 側面カバー
13. 側面カバーロック
14. DISP./機能ボタン上
15. フラッシュモード/機能ボタン右
16. SET ボタン
17. 電池カバーボタン
18. 電池カバーのノブ
19. 再生ボタン
20. 消去/機能ボタン下
21. Menu ボタン
22. 三脚ねじ穴
23. セルフタイマー/機能ボタン左
24. 液晶モニター
25. スピーカー

電池の挿入



1. 電池カバーボタンを押したままノブを反時計方向に回して、電池カバーを開けます。
2. 単三型電池2本を電池室に挿入します。
3. 電池カバーを閉じて、”カチ”と音がするまでノブを時計方向に回します。

メモリーカードの挿入



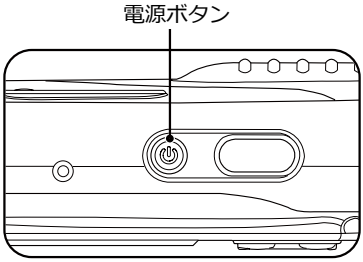
1. 矢印の方向に側面カバーのロックをスライドし、側面カバーを開けます。
2. 矢印の方向にメモリーカードをカードスロットに差し込みます。(挿入方向は図を参照)。指先でメモリーカードをスロットの奥までカチッと音がするまで完全に押し込みます。
3. 側面カバーを閉じます。

メモリーカード(microSD/microSDHC)は別売りです。カメラの付属品ではありません。市販のメモリーカードを御求めください。4GBから32GBまで使用可能です。

メモリーカードを取り外すには、電池カバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押しだされます。まっすぐ引き抜きます。

電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。



言語と日時の設定

言語設定

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、言語を設定します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。

日時設定

1. 機能ボタン上/下を押して、「年月日」の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右を押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上/下を押して、値を合わせます。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

確定した言語を変更する場合

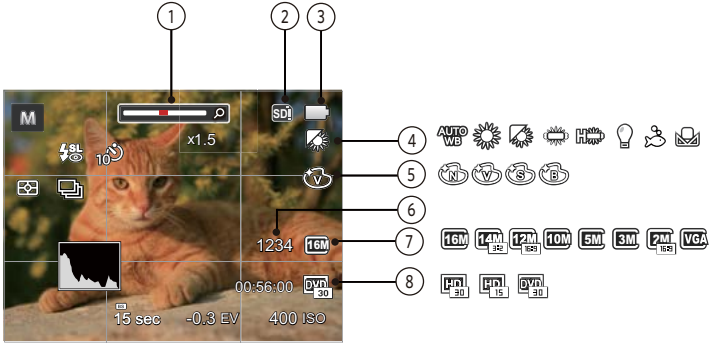
1. カメラの電源をオンします。
2. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して 🎞 を選択し、(SET) ボタンをを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、🔧 を選択します。
4. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「Language/言語」を選択し、(SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
5. 機能ボタン上/下を押して、Language/言語を選択します。
6. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

確定した日時を変更する場合

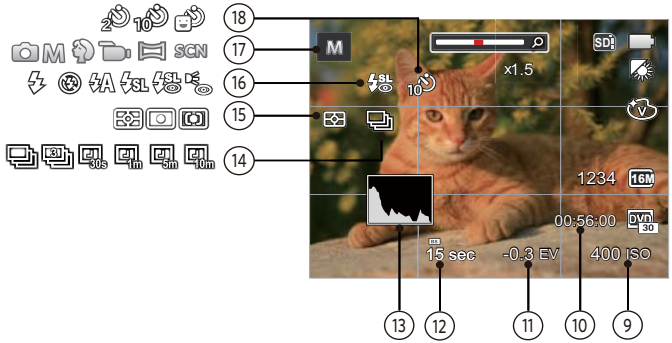
1. カメラの電源をオンします。
2. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
4. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「日付/時刻」を選択し、(SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
5. 機能ボタン上/下、左/右を押して、値を変更します。
6. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

液晶モニター画面表示

静止画撮影モード表示

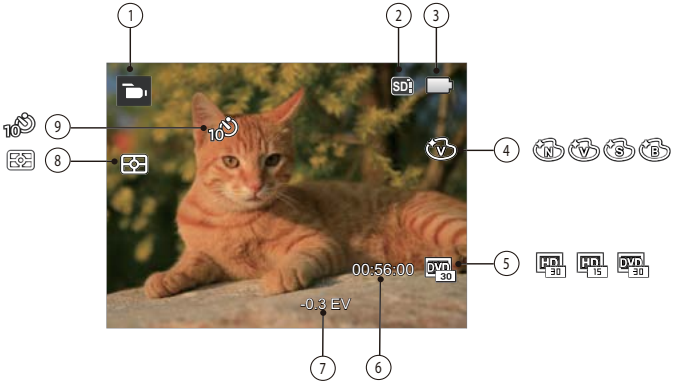


1	ズームインジケーター	5	色彩
2	メモリーカード/内蔵メモリー表示	6	撮影可能枚数
3	電池残量表示	7	静止画画像サイズ
4	ホワイトバランス	8	動画画像サイズ



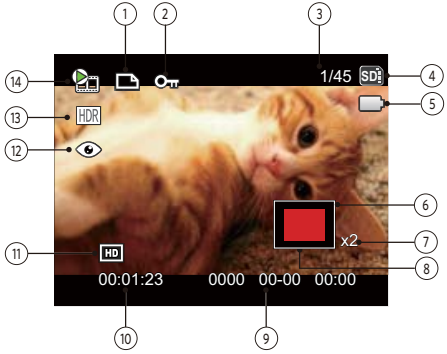
9	ISO感度	14	連写
10	撮影可能時間	15	測光方式
11	露出補正	16	フラッシュモード表示
12	シャッター速度	17	撮影モードアイコン
13	ヒストグラム	18	セルフタイマー表示

動画撮影モード表示



1	撮影モードアイコン	6	撮影可能時間
2	メモリーカード/内蔵メモリー表示	7	露出補正
3	電池残量表示	8	測光方式
4	色彩	9	セルフタイマー表示
5	動画画像サイズ		

再生モード表示



1	DPOF 印刷	8	縮小液晶モニター
2	保護	9	撮影日時
3	画像番号/総画像数	10	動画撮影時間
4	メモリーカード/内蔵メモリー表示	11	動画画像サイズ
5	電池残量表示	12	赤目軽減
6	画面位置表示（案内マーク）	13	HDR
7	画像の倍率	14	再生モードアイコン

モードボタンの使用

本カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについて、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。
手動モード		このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます。
ポートレートモード		人物の顔を明るくきれいに撮影できます。
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます。
パノラマモード		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真にします。
シーンモード	SCN	21種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます。

自動モード

自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

1. (MODE) ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
2. シャッターボタンを押して写真を撮ります。

手動モード M

撮影目的に合わせて露出補正及びISO感度、長時間露光のシャッター速度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

1. (MODE) ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、M を選択し、(SET) ボタンを押します。

2. (SET) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
3. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
4. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
5. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

ポートレートモード

このモードは、人物の撮影にもっとも適しています。人物の肌色、やわらかさを自然に表現できます。

MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、を選択し、SET ボタンを押します。

パノラマモード

パノラマモードでは、パノラマ写真を作成します。本モードで撮影した画像をつなぎ合わせて、パノラマ写真を自動的に構成します。

1. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、を選択し、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで 2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを半押し、AEロック後、全押しして、最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面には、半透明画像が画面の端に表示されます。端を重ねることで二枚目を撮影できます。この手順を繰り返して撮影します。

4. 4枚の撮影が終了すると、4枚の写真をカメラは自動的にパノラマに合成させます。
5. 3枚以下でも ボタンを押すことでパノラマ合成できます。

撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、露出補正の各モードは使用できません。

パノラマ写真撮影中に (SET) ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。途中で消去/機能ボタン下を押せば保存せずに取り消すこともできます。

シーンモード SCN

シーンモードでは、状況に合わせて合計21種類のシ ーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. (MODE) ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、SCNを選択し、(SET) ボタンを押して、画面にはシーンモードメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

シーン	説明
自動シーンモード	自動的にシーンを識別し、人物、逆光の人物、風景、マクロ、夜景、夜景と人物などに適した撮影をします。
風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。
夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します（三脚の使用を推奨します）。
夜景	夜景を撮影します（三脚の使用を推奨します）。
雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現します。
子供	障害を避けるため、自動的にフラッシュの発光を禁止します。子供の写真を撮るのに適しています。
IDカード	証明写真を撮るときに輪郭を鮮やかに写します。(6インチ×4インチ=10.2cm×15.2cm）の印画紙を用いて印刷することをお勧めします。

シーン	説明
ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影します。
フォトフレーム	12種類のフォトフレームを選択することができます。
流し撮り	被写体のスピード感をとらえ、背景は流れるように撮影します。
資料	白地の印刷物などの文字を鮮明に写します。
魚眼	魚眼効果を強調した写真が写せます。
パーティー	室内のパーティー会場で、照明の背景を生かして、楽しい雰囲気が伝わります。
室内	室内撮影用です。背景や周辺を鮮明にします。
植物	植物を撮影する際、緑が鮮やかに表現できます。
博物館	博物館やフラッシュが禁止されている場所でも明るく写ります。
夜景ポートレート	人物の顔は明るく、夜景もキレイに写します。
スケッチ	鉛筆で滑らかに描いたような写真が撮れます。

自動シーンモード (ASCN)

ASCN モードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

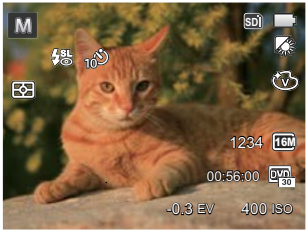
アイコン	モード名	アイコン	モード名
	風景		夜景
	ポートレート		マクロ
	夜景ポートレート		自動
	逆光のポートレート		

1. MODE ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、SCNを選択し、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、ASCN を選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。
4. カメラを被写体に向けると撮影シーンを自動的に判別して、最適なモードを選択します。
5. シャッターボタンを押して写真を撮ります。

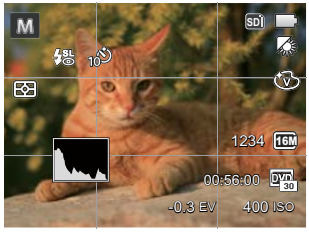
モード名	説明
風景	風景写真の場合、ASCNは背景に一致するように露出を自動的に調整します。
ポートレート	人物撮影の場合、ASCNは人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
夜景ポートレート	夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、ASCNは人物と背景の明るさを最適に自動調整します。
逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、ASCNは前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。
夜景	夜景の場合、ASCNはISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
マクロ	小さな被写体をアップで撮影できるように ASCN は自動的にピントを合わせます。
自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

画面の切り替え表示

DISP. ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。
撮影モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示



グリッドガイドとヒストグラムの表示

情報表示なし

セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1. ボタンを押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、4種類のメニューから選択することができます。

- セルフタイマー：オフ
  セルフタイマー機能をオフにします。
- セルフタイマー：2秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後に撮影します。
- セルフタイマー：10秒
  シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後に撮影します。
- セルフタイマー：笑顔
  シャッターボタンを全押しすると笑顔検出が作動し、笑顔を検出すると自動的にさつえいを行います。再度シャッターを全押しすると笑顔検出が解除されます。本モードを設定するとシャッターボタンにおける撮影は行いません。

3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください。

1. ボタンを押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、6種類のメニューから選択することができます。

- 発光禁止
  あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
- 自動発光
  カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
- 強制発光
  すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
- スローシンクロ
  夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
- スローシンクロ＋赤目軽減
  スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
- 赤目軽減
  予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。

3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

機能設定

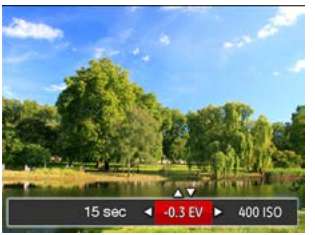
各機能を最適な条件に設定することで、より本格的な撮影を楽しめます。

1. (SET) ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2 機能ボタン左/右を押して、機能メニューを選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、値を設定します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します（露出補正の設定はカメラが M モードに入っているときのみ使用できます）。



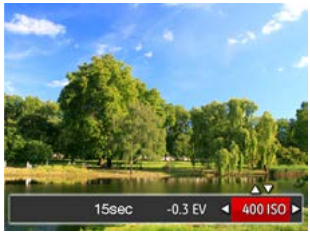
露出値の調整可能範囲は、EV-2.0からEV+2.0です。

動画モードでも露出補正を調整することができます。

ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くすることで綺麗に撮影することができます。（ISO感度の設定はカメラが、M モードに入っているときのみ使用できます）。

ISO感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。



ISO感度の調整可能範囲は、自動、80、100、200、400、800、1600です。

シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます（シャッター速度の設定はカメラが、M モードに入っているときのみ使用できます）。

シャッター速度の調整可能範囲は、1～30秒です。

動画撮影ショートカット

動画ボタン ● を押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。

動画撮影を終了するには、動画ボタン ● あるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

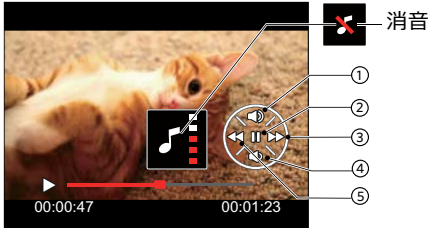
再生モード

静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態で、▶ ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、SET ボタンを押して動画再生モードに入ります。

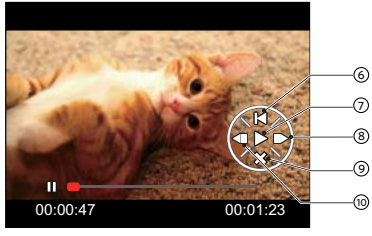
動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタンと SET ボタンを押して、操作機能の変更ができます。



下記に操作機能を表示してあります。

1 音量を上げる
2 一時停止
3 早送り
4 音量を下げる
5 巻き戻し

下記に一時停止後の操作機能を表示してあります。

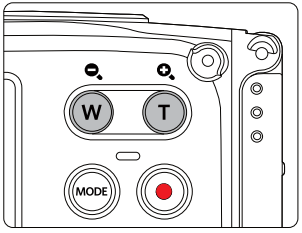


6 最初のコマに戻る
7 再生の再開
8 早送り
9 再生取消
10 巻き戻し

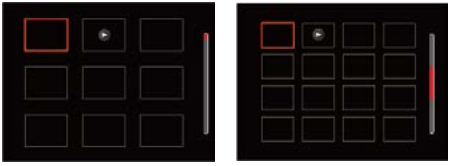
サムネイルビュー

再生モードでズームボタンを (W) 側に押すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

W縮小側 **T**拡大側



1. ズームボタンをW側に押すと、3x3（9コマ）のサムネイル画像が表示されます。さらに押すと、4x4（16コマ）のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、静止画または動画を選択することができます。(SET) ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。

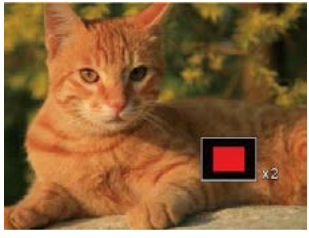


液晶モニターに ▷ のアイコンが表示されるときは動画画像です。

画像を拡大する（静止画専用）

ズームボタンは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1. ▶ ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームボタン (T) 側を押して画像を拡大すると、液晶モニター右下に倍率（2.0X）が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、赤色）が表示されます。機能ボタン上/下、左/右を押して、お好みの場所を見ることができます。
4. 拡大した画像を縮小するときは、(SET) ボタンを押します。またズームボタンW側を繰り返し押しても画像を縮小できます。



動画は拡大できません。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで ▶ ボタンを押します。
2. スライドショーを見るには (SET) ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、取消あるいは3種類のメニューから選択することができます。

- 効果1：間隔1秒
- 効果2：間隔1秒
- 効果3：間隔1秒

4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン下 を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 機能ボタン下 を押すと消去画面が表示されます。

4. 機能ボタン上/下を押して、「1枚消去」または「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

消去された静止画/動画は回復することができません。

すべての画像を一括消去する方法は58ページをごらんください。

静止画メニュー

撮影モードアイコン:

撮影モードで (MENU) ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

変更するセットアップメニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、素早く切り換えることができます。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- 中央部重点

AiAE:画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

16M： 超高品質印刷
14M-3:2： 高品質印刷
12M-16:9： フルサイズ印刷
10M： A3ノビサイズ印刷
5M： A4印刷
3M： A4以下印刷
2M-16:9： A5印刷
VGA： 電子メール

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。

7種類のメニューから選択することができます:

- 一枚撮り
- 連写
- 3Xショット
- インターバル撮影 30秒
- インターバル撮影 1分
- インターバル撮影 5分
- インターバル撮影 10分

連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

ホワイトバランス

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します(WB設定はカメラが M モードに入っているときのみ使用できます)。

8種類のメニューから選択することができます。

- 自動
- 晴天
- 曇天
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱電球
- 水中
- 手動

調整する

シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます

4種類のメニューから選択することができます。

- 普通
- 鮮明
- セピア色
- 白黒

- 撮影モードでの各メニュー
  (o：選択できる x：選択できない)

メニュー	撮影モード				
		M			SCN
	○	○	○	○	○
16M	○	○	○	×	○
	○	○	○	×	×
AUTO WB	×	○	×	×	×
	×	○	×	○	×
HD	×	×	×	○	×
ASCN	×	×	×	×	○

設定メニュー

撮影モードアイコン：

1. 撮影モードで ⓜ ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。

2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
3. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。

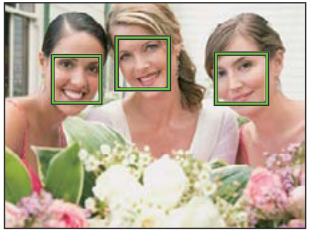
3種類のメニューから選択することができます。

- 精細（16M 平均サイズ：4.0MB）
- 標準（16M 平均サイズ：2.5MB）
- 普通（16M 平均サイズ：2.0MB）

顔検出

撮影モードで、顔検出の設定をオンにすると、顔検出が有効になります。

1. カメラを構えて、被写体に向け顔を検出すると、液晶モニターの顔部に枠が表示されます。



2. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

瞬き検出機能が有効になっています。再生時に瞬きを検出したときは、 が表示されます。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。

日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。

4種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 1 秒
- 2 秒
- 3 秒

動画メニュー

動画モードアイコン：

1. (MODE) ボタンを押して、 モードを選択後 (≡) ボタンでセットアップメニューに入ります。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

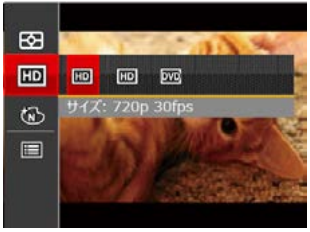
3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- 中央部重点

AiAE:画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

画像サイズの設定

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。



高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

No.	画像サイズ	駒/秒	推奨	録画時間（4 GB）
1	1280x720 *	30	Class 6	約16分
2	1280x720	15	Class 6	約32分
3	640x480	30	Class 4	約48分

* 動画で連続撮影できるのは1回につき29分までです。

高画質で動画撮影中に、カメラ内部の温度が上昇して、自然に中断することがありますが、これは故障ではありません。内部温度が下がるまで、暫く待ってから再度御使用下さい。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。

4種類のメニューから選択することができます。

- 普通
- 鮮明
- セピア色
- 白黒

動画設定メニュー

モード：

1. モードで ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。

3. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

デジタルズーム

動画撮影時はジタルズームを使用できません。

再生メニュー

モード： ▶

1. 再生モードで ☰ ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、メニューに入ります。

4.機能ボタン左/右を押して、メニューを選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して編集する静止画を選択します。
2. ☰ ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、HDR を選択し、SET ボタンを押して、メニューに入ります。
3. 機能ボタン左/右を押して、HDRを使用するかどうかを選択します。

✓：HDR　✕：取消

4. HDR最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

赤目軽減

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。又顔をより美しくする機能もあります。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、人物画像の静止画を選択します。
2. (MENU) ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. (SET) ボタンを押し、赤目軽減あるいは取消を選択します。

：赤目軽減　：取消

4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に軽減できます。

動画画像は赤目軽減ができません。

色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、色彩変更する静止画を選択します。
2. (MENU) ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. (SET) ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。

4. (SET) ボタンを押して設定を確定します。

：取消　：セピア色

：鮮明　：白黒

画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像回転する静止画を選択します。
2. (MENU) ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. (SET) ボタンを押し、「右回転」、「左回転」、「取消」を選択します。

：右回転　：左回転　：取消

4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

回転して変更した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

動画ファイルは向きを回転させることができません。

画像サイズの変更（リサイズ）

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像のサイズ変更する静止画を選択します。
2. (MENU) ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. (SET) ボタンを押し、「1024X768」、「640X480」、「取消」を選択します。

4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

パノラマ画像は、サイズ変更できません。

再生設定メニュー

モード: ▶

1. ▶ モードで MENU ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、☰ を選択し、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。

3. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して「保護」を選択し、SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、3種類のメニューから選択することができます。
   - 一枚： 選択した画像を保護します。
   - すべて： すべての画像を保護します。
   - リセット： すべての画像の保護を解除します。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

消去

2種類のメニューから選択することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して、「消去」を選択し、(SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、2種類のメニューから選択することができます。
   - 一枚： 選択した画像を消去します。
   - すべて: すべての画像を消去します。
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOF により印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで、どの画像を印刷するか等の手間が省けます。

3種類のメニューから選択することができます。

- 一枚： プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて： すべての画像をプリント予約します。
- リセット： プリント予約を解除します。

DPOF対応プリンターをご使用いただければ、ご家庭でも簡単にプリントが楽しめます。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. セットアップメニューからトリミングを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、トリミングする静止画を選択し、機能ボタン上/下を押して、「はい」あるいは「戻る」を選択します。
3. 「はい」を選択して、(SET) ボタンを押します。
4. ズームボタンと機能ボタン上/下、左/右を押して、トリミング範囲を調整します。

5. (SET) ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。✔ あるいは ✘ を選択して、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

回転して方向変更した画像はトリミングできません。

カメラ設定メニュー

モード:

すべてのモードで (MENU) ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。次に機能ボタン上/下を押して、 を選択します。

1. (SET) ボタンあるいは機能ボタン右を押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下あるいは左/右を押して、メニューを選択します。機能ボタン左を押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

音設定

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音を調整することができます。設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. 設定メニューから「音設定」を選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューから、機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
   - オフ
   - トーン1
   - トーン2
   - トーン3

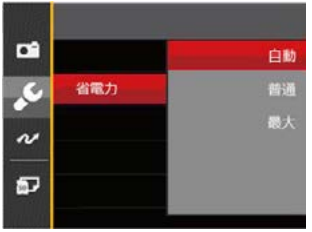
3. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

トーンを変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。本設定により、カメラのLCD点灯時間及び自動電源Offの時間を変更できます。

1. 設定メニューから「省電力」を選択します。
2. サブメニューには「自動」、「普通」、「最大」が表示されます。



3. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

省電力	液晶モニターが消灯するまでの時間	電源がオフになるまでの時間
自動	3 min	5 min
普通	1 min	3 min
最大	30 s	1 min

言語設定

17ページの「言語設定」を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

1. 設定メニューから「ワールドタイム」を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン上/下を押して、 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。

日時設定

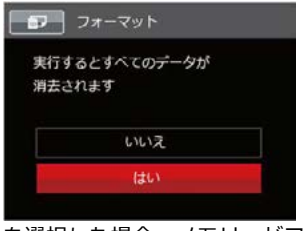
17ページの「日時設定」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

フォーマット

フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。

1. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して を選択し、(SET) ボタンを押してメニューに入ります。
2. 機能ボタン上/下を押して を選択し、(SET) ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して「フォーマット」を選択し、(SET) ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
4. 機能ボタン上/下を押して「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。



5. 「はい」を選択した場合、メモリーがフォーマットされます。

新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

1. 設定メニューからコピーを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

カメラにメモリーカードを装填しない場合は、「カードへコピーする」項目は表示されません。

ファイル番号

静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを 1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます（メモリーカード内のファイルが、9999を越えて、最後のフォルダ内の写真が、999枚を越えた場合、「メモリーカードに残量がありません。新しいカードに交換してください。」と警告が表示されます）。

1. 設定メニューからファイル番号を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

リセット設定

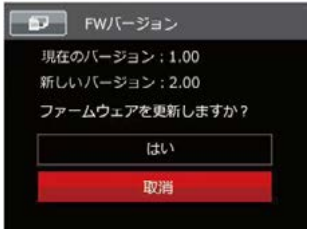
この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

1. 設定メニューからリセットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

FWバージョン

この設定により、現在のカメラのファームウェアバージョンの表示または更新します。

1. 設定メニューからFWバージョンを選択します。



2. 新しいファームウェアがリリースされた場合、FWバージョンのメニューからアップデートすることが出来ます。メモリーカードのルートフォルダにファームウェアファイルを保存し、FWバージョンメニューを開いてください。

電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

カメラ接続

PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するために USBケーブルを使います。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

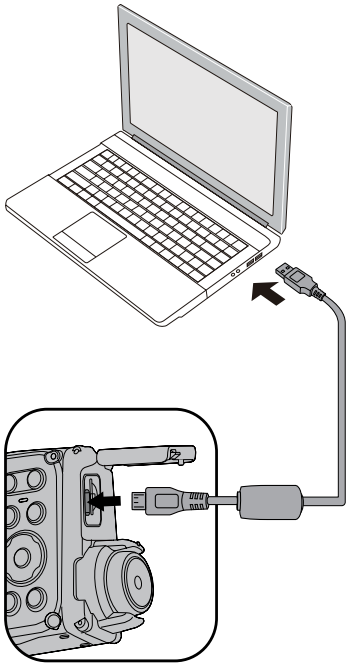
1. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「PC」を選択します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてお好みの場所に画像をコピーしてください。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AV端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。
4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。



ビデオシステム

AVケーブル (別売品　Micro USB-AVタイプをお買い求めください) を使用して、ビデオ/テレビに接続します。
（詳細に付いては、ビデオ/テレビの説明書を参照してください）

1. ビデオとカメラの電源をオンにします。
2. AVケーブルの一端をビデオの映像入力端子 (音声入力端子) に接続し、他端をカメラのUSB/AV端子に接続します。

次の手順でビデオ出力信号を設定することができます。

1. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下で、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、ビデオシステムを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

NTSC: 英語、中国語繁体、日本語、フランス語、韓国語、ロシア語、ベトナム語、ギリシア語、ハンガリー語

PAL:ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語簡体、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、フィンランド語、インドネシア語、ノルウェー語、オランダ語、トルコ語、ポーランド語、ドイツ語、クロアチア語、チェコ語、アラビア語、ヒンディー語

カメラの言語設定により、ビデオ出力信号「NTSC」あるいは「PAL」は、自動的に設定されます。

電池種類

電池を使用する前に、正確な電池種類を選択してください。

1. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、電池種類を選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「アルカリ」あるいは「ニッケル水素」を選択します。

PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをプリンターに接続して正しく設定がされていることを確認します。

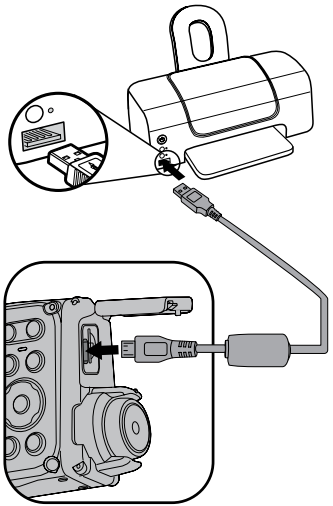
1. (MENU) ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、(SET) ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「プリンター」を選択します。
4. (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

カメラをリセットすると、USBモードはPC接続モードに自動的に切り替わります。

PictBridgeメニューの設定は、71ページを参照してください。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類のメニューが表示されます。

1. 日付印刷
2. 日付なし印刷
3. サムネイル画像を印刷する
4. DPOF画像を印刷します
5. USBケーブルを取り外す

機能ボタン上/下を押して、PictBridgeメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. メニューから「日付印刷」を選択すると次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. (SET) ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. メニューから「日付なし印刷」を選択すると次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. (SET) ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. メニューから「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください（59ページのDPOFを参照してください）。

1. メニューから「DPOF画像を印刷します」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(SET) ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り外す

メニューを終了するには、「戻る」を選択します。「USB ケーブルを外してください」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

付録

仕様

外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

カメラ部有効画素数		1615万画素		
撮像素子		1/2.3型CCD（総画素数 1644万画素）		
レンズ	焦点距離	5.53mm		
	35mmフィルム換算	31.5mm		
	開放F値	F2.85		
	レンズ構成	5枚		
	光学ズーム	無し（固定焦点）		
	撮影範囲	60cm～∞		
デジタルズーム		2倍		
記録画素数（画像サイズ）	静止画	(4:3) 16MP: 4608×3456 10MP:3648×2736 5MP: 2592×1944 3MP: 2048×1536 0.3MP: 640×480	(3:2) 14MP: 4608×3072	(16:9) 12MP: 4608×2592 2MP: 1920×1080
	動画	1280×720(30/15fps)、640×480(30fps)		

画質		精細、標準、普通
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○
ファイル形式	静止画	Exif 2.3 (JPEG)
	動画	画像圧縮：MOV (Motion JPEG) 、音声：G.711 [Monaural]
撮影モード		自動モード、手動モード、ポートレート、動画モード、パノラマモード、シーンモード
シーンモード		自動シーンモード、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、雪、子供、IDカード、ガラス越し、フォトフレーム、流し撮り、資料、魚眼、パーティー、室内、植物、博物館、夜景ポートレート、スケッチ
検出機能		顔、笑顔、まばたき
防水機能		水深5mまで
耐落下機能		高さ1.2mまで
防塵機能		JIS/IEC保護等級6級（IP6X）

赤目軽減	○
HDR	○（後処理）
パノラマ	0°～180°（水平）
液晶モニター	2.7インチ TFTカラー液晶モニター（230,400 ピクセル）
ISO感度	自動, ISO 80/100/200/400/800/1600
測光方式	AiAE、スポット、中央部重点、顔AE
露出制御方式	プログラムAE（AEロック可能）
露出補正	±2 EV（1/3ステップ刻み）
シャッター速度	4～1/2000秒（手動30秒）
連写	○
再生モード	静止画、サムネイル（9/16）、スライドショー、ズーム (約 2倍～8倍)、動画
ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、水中、手動

フラッシュ	フラッシュ方式	内蔵
	フラッシュモード	自動発光/赤目軽減発光/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/ 赤目軽減発光+スローシンクロ
	撮影範囲	約 0.3m～5.1m（ISO800）
記録メディア		内蔵メモリー: 8 MB
		microSDカード/microSDHCカード（32GBまでサポート） [MMC カードサポートなし]
PictBridge、Exif印刷サポート		○
入出力端子		AV-OUT/USB 2.0 (Micro 5 pin USB)
電源		単三形アルカリ電池（2個使用）単三形NiMH電池[別売]
撮影枚数（電池寿命）		単三形アルカリ電池: 約190ショット（CIPA標準に基づく）
動作環境		温度：0～40℃ 湿度：90%以下（結露しないこと）
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)		約 107.1×59.8×28.0mm
質量		約 130g（本体のみ）

エラーメッセージ

メッセージ	説明	リセット方法
警告!電池残量がなくなりました	カメラの電池容量がなくなりました。 カメラがシャットダウンすることを示す警告です。	バッテリーを交換してください。
三脚の使用をお勧めします	シーンモードの中で長いシャッタースピードまで使用するモード（花火モード、夕日モード、夜景モードなど）を選択すると表示されます。	これは2秒後に消えます。
内蔵メモリーエラー	内蔵メモリーにエラーが発生しました。	内蔵メモリーをフォーマットしてください。
長時間シャッター　オン：露出オーバーにご注意ください	長時間シャッターがオンになっているとき、写真撮影画面に戻るとこのメッセージが表示されます。	これは2秒後に消えます。
接続に失敗しました	PC、プリンター、テレビ（ビデオ）への接続が失敗しました。	USBケーブルを取り外し接続を解除すると、表示は消えます。
警告!更新中はカメラの電源を切らないでください	ファームウェアを更新するときに表示されます。	ファームウェア更新後、カメラがオフして表示が消えます。

メッセージ	説明	リセット方法
メモリーカードの残量がありません	メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
内蔵メモリーの残量がありません	内蔵メモリーがいっぱいで、新しい画像を保存できません。	新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
カードエラー	・ メモリーカードのフォーマットを識別または読み込みできません。 ・ SDXCメモリーカードが装填されています。	新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードが装填されているか、PCなどでフォーマットされたSDカードが装填されています。	メモーリーカードをフォーマットしてください。
SDHC メモリーカード（クラス4以上）をお勧めします	HD動画の録画に、Class4以前のSDカードを使用すると、書き込み速度が遅くなり、録画を継続できなくなります。	SDカードはClass4以上のものを使用してください。
赤目現象はありません	画像を最適化するとき、赤目の現象は画像から検出されません。	表示は 2秒後に消え、最適化メニューに戻ります。

メッセージ	説明	リセット方法
この画像は編集できません	このファイルフォーマットでは編集できません。一度編集した画像は再度編集できません。	表示は 2秒後に消えます。
フォルダー番号が最大値になっています	SDカードのフォルダー番号が最大値（999）に達すると、カメラの起動時間が遅くなる可能性があります。	SDカードをフォーマットするか新しいSDカードに交換してください。
画像が多すぎて処理できません	日付別に再生しているとき、画像が多すぎて、日付別に再生できなくなりました。	表示は 2秒後に消え、再生画面に戻ります。
ファイルを認識できません	画像フォーマットがサポートされていません。画像が損傷しています。	他社のカメラやPCでは再生できる場合があります。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。	表示は 2秒後に消え、撮影画面に戻ります。
保護されています! 消去できません!	画像は保護されています。消去する前に、保護を解除してください。	消去する前に、保護を解除してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	■ 電池切れです。 ■ 電池が正しく装填されていません。	■ 新しい電池に交換してください。 ■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 ■ 電池のプラスとマイナスを確認し、正しくセットしてください。
操作中にカメラが突然オフになる。	■ 電池切れです。	■ 新しい電池に交換してください。 ■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	■ レンズが汚れています。	■ 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	■ メモリーカードの残量がありません。	■ メモリーカードを新しいものと交換してください。 ■ 不要な画像を消去してください。

問題	考えられる原因	解決法
接続したプリンターから画像を印刷できない。	■ カメラがプリンターに正しく接続されていません。 ■ プリンターがPictBridge互換でありません。 ■ プリンターが用紙またはインク切れです。 ■ 用紙詰まりです。	■ カメラとプリンターの接続を確認してください。 ■ PictBridge互換プリンターを使用してください。 ■ プリンターに用紙を補給してください。 ■ プリンターのインクカートリッジを交換してください。 ■ 詰まっている用紙を取り除いてください。
メモリーカードの書き込み速度が遅い。	■ クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	■ SDHCカードを使用する。または、このメモリーカードをフォーマットしてください。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	■ メモリーカードに保存されている画像数あるいはフォルダー数が規格数を超えています。	■ 不要な画像を消去してください。 ■ メモリーカードにある一部分の画像を他の場所へ移動して保存してください。

コダックの商標およびトレードドレスは、コダックのライセンスに基づき使用されます。

© 2015 by JK Imaging Ltd. All Rights Reserved.

JK Imaging Ltd., 17239 South Main Street, Gardena, CA 90248, USA

JK Imaging Europe, 71 Clarendon road, Watford, WD17 1DS, UK

www.kodakpixpro.com